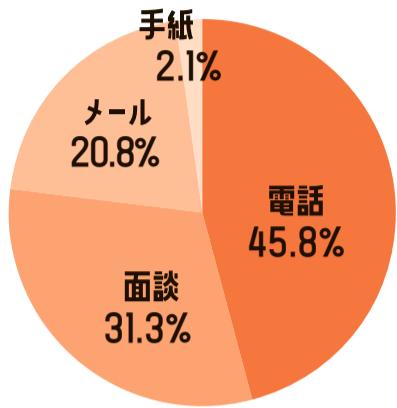


子どもオンブズパーソンの活動状況

子どもオンブズパーソンの主な役割は ①相談に対する助言・支援 ②申立て等に基づく救済活動 ③子どもの権利の普及啓発 の3つです。今回は相談活動(令和6年度実績)と子どもの権利の普及啓発活動についてご紹介します。

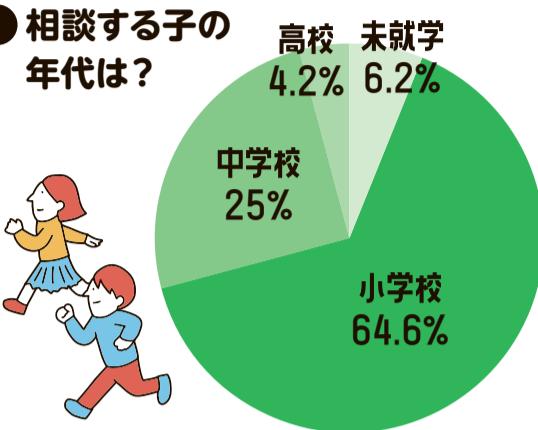


● 相談の方法は?



相談の方法で一番多いのが電話で、次に面談、メールと続きます。子どもたちが安心して話すことができるよう、相談室では温かい雰囲気づくりを心がけています。

● 相談する子の年代は?



子どもオンブズパーソン相談室では、子どもの権利侵害のことであれば、おとなからの相談も受けています。相談対象となる子どもの所属で一番多いのが小学校で、次いで中学校、未就学、高校と続きます。特に多いのが小学校6年生からの相談です。子どもオンブズパーソンは市立小学校の6年生に子どもの権利学習を実施していますが、授業では「どんなことでも相談してね」と声をかけています。

● 相談の内容は?

クラスの友だちと最近うまく話せなくなって、ちょっとさみしい気持ちです。自分から話しかけるのが苦手で、どうすればいいかわかりません。

昨日の夜、お父さんとお母さんがケンカをしていてよく眠れず、授業中にはぼーっとしていたら、先生に注意されてしまった。先生は僕の気持ちをわかつてくれなくて苦しい。どうしたらいいか。

「子どもオンブズパーソン相談室」の対応 /

孤独な気持ちや友だちに対する不安、悩みが伝わってきました。自分の気持ちを伝える方法や、無理せず少しずつ自分から声をかける練習を相談室で行いました。後日、友だちといい関係になれたと電話がありました。

先生に「何かあったの」ときいてほしかったと話してくれて、自分ではその気持ちを先生へ伝えられないのでオンブズパーソンから伝えてほしいと希望があり、学校へ伝えに行きました。相談者は、「伝えてもらえて安心しました。」と話していました。

子どもオンブズパーソンは、子ども一人ひとりの人権や個性が尊重され、健やかに成長することができる文化・社会をつくる一翼を担いますが、そのためには市民のみなさまのご協力が欠かせません。もし、みなさまの周りに悩んでいる・困っている子どもがいたら、どんなことでも構いません。子どもオンブズパーソンをご紹介ください。みなさま一人ひとりが「子どものために協力できること」を意識していただくことで、子どもの権利が尊重され、いかされるまちづくりにつながっていきます。

気軽に相談してね!

よりそい、ささえ、気づきをサポートします



会って・電話で

フリーダイヤル（子ども専用）

0120-770-977

おとな用

042-388-4370

そだん
相談できる
よび
曜日・時間

月・火・水・金 ▶ 午後1時～午後7時
ど
土 ▶ 午前10時～午後4時
(木曜、日曜、祝日、年末年始はお休み)

どんなことでもいいよ

いつでも

メールで

せんようゆうりょく
専用入力
フォームから
そだん
相談できるよ



てがみ
手紙で

T184-0012
こがねいしなかちょう
小金井市中町3-9-10 Costa4階
こ
子どもオンブズパーソンあて

いつでも



ひみつ まも
秘密を守るよ

かね
お金はわからぬよ

